

筐子トンネル天井板落下事故を受けて の市内インフラの安全性について

公明党 上原 富士雄

経年からくる安全対策
・防災減災対策について

問 市内に上信越道や県道合わせ六つのトンネルがあります。その構造物や一般道の大型掲示板・崖崩れ等、安全確認はどのように行っているのか伺います。

答 日常的に急傾斜地や崖など、危険箇所のパトロールを実施しています。国や県においても、定期的に案内表示版や道路施設の安全点検を実施していると伺っています。

利便性や効率性の追求
社会から安全性・景観等

問 景観を重視した街づくりが望まれます。しかし綺麗な街並みや青空は、電線や通信線でクモの巣が張ったように区切られて台無しです。景観・美観もさることながら、災害時に倒壊し緊急・避難車両の通行障害が懸念されています。電線地中化の推進について伺います。

答 用地の確保や経費の増大等、課題があり今後議会や市民の意見を聞き、研究・検討していきます。



市内の電柱

住宅リフォーム助成制度・ 学童保育について

日本共産党安中市議団 櫻井 ひろ江

住宅リフォーム助成制度
の創設について

問 高崎市では、対象工事費の三十%、上限二十万円までの助成で、昨年は千七十一件で、約五倍の経済効果がありました。対象工事は、外壁工事、内装工事、浴室やトイレ、畳、サッシ、屋根などで多くの業種に及んでいますが。当市での取り組みについて伺います。

答 現在、市では耐震補強等の事業に取り組んでおり、財政状況も考えて、引き続き調査検討します。

問 県内も導入が増えていきます。状況を伺います。
答 十二市中、九市が行っており、一市が検討中です。
問 耐震改修の補助制度の利用状況を伺います。
答 平成二十三年度一件、二十四年度二件です。
問 耐震改修も重要ですが、リフォームは内容により工事費は様々です。市民が喜び、業者も仕事

が増える、この制度も必要ではないでしょうか。

答 マイナスの経済波及効果も考えられます。
問 「業者の競争力の低下」と言いますが、かえって業者は仕事をとろうと、働きかけが増えます。市内の小さい事業者への育成、経済への効果などについて、市の見解を伺います。

答 耐震工事を優先させなければなりませんし、広範にわたって検討の余地があります。
問 具体的に検討し内容をよく確認して頂きたい。



東横野学童クラブ

防災対策について

清風クラブ 柳沢 浩之

自主防災組織について

問 自主防災組織は、日頃から防災意識の高揚を図り、地域の方々と一緒に防災活動を促進することが求められています。本市における自主防災組織の現状と訓練の状況、今後どのように確立し、人口組織比率を何%目指すのか伺います。

答 現在六組織が結成され人口組織比率は四%です。訓練は、取り組んでいる組織もあればこれから取り組む組織もあります。来年度は、十%の人口組織比率を目指し、結成を呼び掛けていきます。

問 この活動を担うのは、高齢者の方々が中心になっています。万が一活動中に事故や怪我をした場合の対処方法を伺います。
答 市が加入する防火防災訓練災害補償等共済制度の利用や社会福祉協議会が取り扱うボランティア保険に加入できます。
問 この保険は、特定疾

患を持つている方は対象外と聞いています。異常に補償できる体制を作らなければならないと思います。考えを伺います。

答 この保険は、特定疾患をお持ちの方でも対象外になっていません。いざという時にこの制度で補償の対応ができるものと考えています。

問 安心して活動できる体制を推進していただくことを要望します。その他、②避難所について、③高齢者緊急通報装置について、防災の観点から質問しました。



災害用備蓄品